



国民の森林・国有林

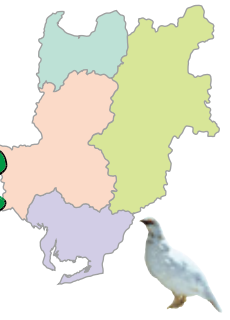
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



1月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



12月の見どころ聴きどころ⑥—野沢温泉の道祖神祭り（ペンネーム イケヤンさんからの投稿）

| | | |
|----------------------|---|------|
| 主な項目 | ○ 平成31年 年頭所感 | P 1 |
| | ○ 本局のトピックス（ミス日本みどりの女神が中部森林管理局へやってきたほか） .. | P 2 |
| | ○ 各地からのたより（新任労働基準監督官の実地研修を受け入れほか） | P 4 |
| | ○ シリーズ「ご当地自慢」（木曾森林管理署 田の原高原） | P 9 |
| | 森林でのお仕事紹介コーナー | |
| | ☆ 「森林官からの便り」（上ヶ洞森林事務所） | P 10 |
| | ☆ 「森林・林業界からの便り」（有限会社 ヤマカ木材） | P 11 |
| | ☆ 「林業土木業界からの便り」（株式会社 北原組） | P 12 |
| ○ 2月の見どころ聴きどころ | P 13 | |



平成三十一年年頭所感

中部森林管理局長 宮澤 俊輔

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より中部森林管理局の業務運営に対して格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、国有林野事業は、森林のもつ公益的機能の一層の発揮とともに、林業の成長産業化への貢献等を通じて地域の振興に努めることを使命として、様々な取組を進めているところです。

昨年、中部森林管理局においては、森林施業の効率化・低コスト化や木材の需要拡大を重要な課題と位置づけ、主伐時に発生する末木枝条の木質バイオマス発電所へ

の販売、機械地拵の実施による造林コストの縮減に向けた取組等を進めました。

また、新たな試みとして、昨年秋には、近年の住宅における和室の減少等に着目し、オフィスやアパート・マンションで利用できる「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションコンペ」を開催し、木材の需要拡大にも努めました。

一方、平成三十年七月豪雨、台風等により甚大な被害が発生したところ。その際には、関係する県・市町村や地元の事業者等と連携を図り、ヘリコプターによる被災状況の調査等を国有林のみならず民有林も含め実施し、迅速な被災状況の把握を行いました。ま

た、地域住民の皆様の安全・安心のため、一日でも早く森林や林道が復旧できるように災害復旧事業を実施してきているところです。

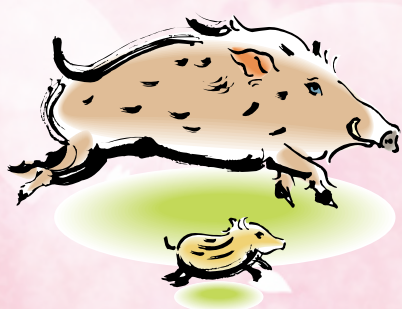
さらに、獣害対策として、これまでの取組に加え、ニホンジカ対策として各種事業の請負事業者等に事業地周辺等でのワナの見回り、捕獲を要請し、地元猟友会等とも連携・協力した地域ぐるみでのニホンジカの捕獲の取組を進めました。

加えて、国有林だからこそ提供できる各地の多種多様な中部森林管理局のフィールドから、「登山未満マチナカ以上」のウォーキングコースを四十四コース選定し、現代のライフスタイルに合わせ、スマートフォンやタブレット端末

にも対応した「国有林おさんぽMAP」を作成し、国民の皆様が国有林のフィールドを活用していただく取組も行いました。

こうした取組のほか、優れた自然環境の維持・保存を図るため、原生的な森林生態系等を有する国有林である保護林については、定期的に保護林モニタリング調査を行ったほか、湿原の保全対策などNPO等と連携した保護・管理活動の取組を行いました。

本年も、私達中部森林管理局の職員一人一人が、皆様からのご意見等に耳を傾けながら、こうした取組を着実に推進するとともに、さらなる充実を図って参りますので、よろしくお願いいたします。



ミス日本みどりの女神が中部森林管理局へやってきた！

昨年行われた「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションコンペ」の表彰式に、審査員兼プレゼンターとして出席された「ミス日本みどりの女神」の竹川智世さんが、中部森林管理局の各課を訪れ局職員を激励されました。



ミス日本みどりの女神 竹川智世さん

各課では、担当する仕事について説明を

ないました。金属探知機による境界発見のシミュレー



金属探知機で境界の発見体験

ション体験を行うなど、工夫をこらした説明に竹川さんも関心していました。



ニホンジカを捕獲するくくりワナを説明



高性能林業機械等を模型で紹介

中部局のソフトボールクラブが初優勝

グリーンクラブは局・署（北信・中信・東信・南信・木曾）のソフトボール愛好家三十名で結成されたチームで、長野市ソフトボール連盟のリーグ戦に参加しています。リーグ戦は平成三十年で三十九回目と歴史が古く、四月三十日に開幕、四十五チームが一般の部A～D（三十八）、シニアの部S（四）、フリーの部F（三）の各リーグに分かれ熱戦が繰り広げられ、十一月十一日に閉会しました。

我がグリーンクラブも三十五回目と長い間参加し続けており、平成三十年は一般の部Dリーグに所属し、七勝一敗の好成績で見事優勝を飾りました。長い歴史の中では過去にAリーグに所属したこともありましたが、優勝は初の快挙ということもあり、先日は局長をはじめ多くの幹部にも出席していただき、盛大に祝勝会を行いました。

モットーは「試合後の懇親会を

楽しみに頑張る！」ですが、試合以外にも顔合わせ、暑気払い、納会などを計画し、局幹部を交えた懇親会を地元の食堂にて行うことで、ちょっとした地域貢献や普段中々話す機会のない局幹部と署の若手職員の懇親も図られ非常に有意義な場となっています。

部員は随時募集しております。経験、未経験問わず一緒に楽しめればと思っておりますので、多くの職員の気軽なご参加をお待ちしております。

（問合せは、資源活用課・木村、治山課・奥原まで）



優勝旗を囲んだ祝勝会

職員が、交渉事案の知識や テクニックを聴講

【保全課】

十二月五日、職員の能力向上を図る取組の一環として、当局の顧問弁護士である神田法律事務所 織 英子弁護士による講演を企画し、各署等の担当者を始め七十名を超える職員が聴講しました。

織弁護士からは、「国家賠償法等をめぐる法的諸問題について」と題し、交渉技術の向上を含め、正しい法的知識や法律用語の意味するところ、判例等について、二時間にとりお話ししていただきました。

国民共有の財産である国有林を適正に管理するうえで、不法行為には毅然として対応すること、交渉事案では国の利益を守るために行動することが求められます。こういった場面における必要な知識やテクニックについて、大変わかりやすく解説していただきました。

参加した職員からは、「現在の林道の管理状況にはどのような瑕



織英子弁護士の講演

疵（法的に人の行為、権利または物に何らかの欠陥・欠点のあること）があると思われるか」などの質問が出され、法的見地から適切なアドバイスをいただきました。

講演終了後には、多くの職員から、わかりやすく、大変参考になったとの声が寄せられました。

今回の講演を参考に、今後も社会的な期待や組織の要請、また国民の信頼に応えるための研鑽を重ね、より正しい対応により地域の皆さまに親しまれる組織であり続けるよう、日々の業務を行ってまいります。

お知らせ

中部森林技術交流発表会を開催します

【技術普及課】

一月二十九日（火）（九時四十五分から十七時）、三十日（水）（八時四十五分から十四時）の二日間、中部森林管理局三階の大会議室において「中部森林技術交流発表会」を開催します。

この発表会は、国有林及び民有林の行政機関、大学・高校、林業事業体が、日頃から行っている森林・林業に関する試験研究、技術開発、林業体験活動等の取組について発表し、参加者間での技術・知識の共有及び情報交換を通じて連携を深め、これらの成果の普及と森林・林業の発展に資することを目的としています。

今年度の発表課題は、国有林（森林管理署等）から十七課題、民有林（林業関係団体、大学・

高校等）から十六課題の計三十三課題と特別

発表「生産性向上実現プログラム」の取組（有限会社金山林業）一課題が

予定されており、過去最多を記録した昨年を上回る課題数となっております。

発表会は、自由に傍聴できますのでぜひお越しください。

なお、「発表プログラム」は、中部森林管理局ホームページをご覧ください。

<http://www.rinyamaf.go.jp/chubu/press/sidou/190111.html>



昨年の発表会の様子



新任労働基準監督官の 実地研修を受け入れ

【木曽森林管理署】

十一月一日、林業現場における実地研修として長野労働局及び愛知労働局の新任労働基準監督官十四名が当署を訪れました。

はじめに、署の概要と林業における労働災害の特徴の説明を行い、作業現場に向かいました。

午前は車両系作業システムによる間伐作業地において、チェーンソーによる伐倒作業と高性能林業機械（プロセッサ）による造材作業を見学しました。伐倒作業では、伐倒木の周囲の状況を確認しながら、受け口や追い口の作設状況、くさびを使つての伐倒方法、退避箇所の確認、隣接作業者の位置確認等、法令に則つて作業することは勿論、作業者間の意思疎通も大事である旨の話に聞き入っていました。

午後は架線集材を実施している現場で木材の搬出作業を見学し、参加した労働基準監督官からは「集材架線の「架線」とは、どの



作業現場で説明を受ける研修生

ようなものなのか、事業体の勤務時間は何時から何時まで、休日などの活発な質問がありました。

引率した長野労働局関川主任監察監督官から「有意義な研修となった。研修生は今後各労働基準監督署に戻り業務を遂行するが、今回の研修の内容を参考にし、頑張ってもらいたい。引き続き中部森林管理局及び関係森林管理署とも連携し、労働災害の防止に努めたい」との言葉が述べられました。

新任の労働基準監督官の皆さんのご活躍を期待するとともに、今後も労働局と連携し労働災害の防止に努めていきたいと考えています。

民・国連携でニホンジカ食害 防除対策検討会を開催

【岐阜森林管理署・森林技術・支援センター】

十一月五日、七宗町上麻生地区森林共同施業団地に設定されているケーススタディ地区において、地域の林業関係者を対象とした民間連携によるニホンジカ食害防除対策検討会を開催しました。

ニホンジカによる農林業への被害は、シカの生息範囲の広域化、捕獲事業者の減少を背景として、より深刻化しています。国有林においても、伐採跡地や幼齢造林地などはニホンジカが集まりやすく、植栽された苗木への被害の広がりが主伐・再造林への大きな障害となっています。

検討会では、岐阜県森林研究所から大洞智宏専門研究員を講師にお招きし、ニホンジカ防除の事例等について講義をいただきました。また、岐阜森林管理署からは、効率的な捕獲にむけた実践例を紹介し、その後、森林技術・支援センターが七宗国有林内に設置

しているシカ対策試験地を視察するとともに、参加者各位の日頃の取組などについて、情報交換を行いました。

ニホンジカ食害防除対策には決定打といえるものがないのが現状ですが、「防除」と「捕獲」、いわば守りと攻めの効果的な組み合わせによる取組を模索していくことも必要です。今後も、民間の関係者が知恵を出し合い、地域ぐるみでニホンジカ対策を推進していくことが重要だと考えます。



シカ対策試験地でシカ柵を見ながら説明

〈各地からのたより〉

長野県林業大学校の

校外研修を実施

【木曾森林管理署】

十一月十三日、上松町の駒ヶ岳国有林で長野県林業大学校二年生の校外研修を行いました。

六月に実施した校外研修の中で特にドローン活用についての質問や要望が多くあったことから、今回はドローンについての研修を実施しました。

木曾森林管理署では各業務においてドローンを活用しています。六月の研修時に視察した複層伐実行箇所も進んでいるため、その状況確認も含め同箇所案内しました。

はじめに署担当者からドローンを飛行させるために必要な基礎的知識として、航空法に規定する無人航空機の飛行ルール等、法令を遵守し安全に飛行させることが必要との基本的な事項を説明、次に当署のドローンの活用事例として、今年七月の豪雨災害の際、ドローンで撮影した写真を関係機関と共有し早期復旧に向けた取組に

効果的に活用した実績や、間伐の伐倒状況確認等、幅広く活用していることについて説明しました。

林業大学校においても今年度二台のドローンを導入したことで、今後の授業・実習で操縦技術の習熟を図るとともに、活用方法を模索していくとのことでした。

当署としては、これからの林業を背負って立つ若人の育成に協力するため、今後もこうした校外研修を受け入れていきたいと考えています。



研修で実際にドローン撮影した現地写真

JICAプロジェクト研修

IN小渋川治山事業所

【伊那谷総合治山事業所】

十一月十九日から二十日の二日間にわたり、インド国ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクトの本邦研修が小渋川治山事業所の事業地で行われました。

この研修は、治山技術を用いた山地対策事業を適切に実施するための体制確立や、効率的で効果の高い治山事業の実施に寄与するため、五年前に六千人が犠牲となったインド北部豪雨災害地の森林復旧事業や防災対策に関わるインド国内担当者の技術レベルの向上を目的に取り組まれています。

本邦研修には、インド北部ヒマラヤ山系の急峻な地形を有するウッタラカンド州の森林局や治山事業を担当するエンジニアら十一名が参加され、局治山課と当所職員の案内で、事業地内の代表的な施工地の鶯ヶ巣、大西山の両崩壊地と小塩地すべり地を視察し、復旧工法や作業手順等について理解を深めました。

現場説

明の際には、「山腹工種の

目的や工種の採用基準は、「

「施工期

間短縮のための工夫は」、「工事の具体的な手順や経費は」など、熱心な質問があり、技術習得に向けた意欲の高さを感じました。

二日目の午後は、大鹿村の「中央構造線博物館」で、学芸員から説明を受けるとともに、村営民俗資料館「ろくべん館」も視察し、日本の山村生活の見聞を深めました。研修生からは、最後に日本語で「アリガトウゴザイマシタ」と挨拶があり、次の研修地の山梨県へ向かわれました。

当所では、局治山課と協力しながら、今後もこうしたJICAの国際協力事業をはじめ、現地案内や説明会を通じ、治山事業の重要性や効果など国内外を問わず広く知っていただく活動を展開していきます。



大西山の崩壊地の復旧方法を学習

大沢野国有林で清掃活動

【富山森林管理署】

十一月二十日、富山市郊外の、大沢野国有林（防風保安林）において清掃活動を実施しました。この活動は「国有林530（ゴミゼロ）運動」として国有林内の清掃活動を行うもので、当署管内では、今年で四年目を迎えます。

当日は、少し汗ばむような天候の中、名古屋林業土木協会富山支部の十二名の方々に参加していただき、梅木富山署長ほか職員十三名、総勢二十五名で実施しました。



人力によるごみ収集

清掃は、人力によりゴミを拾い集め、一輪車で軽四トラックまで運び、コンテナボックスへ集積しました。なお、コンテナボックスは富山市大沢野行政サービスセンターのご理解を得て同駐車場に設置させていただきました。

参加者の協力により、予定した時間内に清掃活動を終了し、コンテナボックスには、六割程度のゴミが回収されました。毎年継続して清掃活動に取り組んでいることもあり、年々ゴミの量も減ってきていると感じました。

今後も、引き続き関係者と協力し、国有林内の保全活動に取り組みむとともに、不法投棄の防止を訴えて参ります。

今後、引き続き関係者と協力し、国有林内の保全活動に取り組みむとともに、不法投棄の防止を訴えて参ります。



参加いただいた皆さん

ケーススタディ地区で

技術指導を伴う現地検討会

【岐阜森林管理署】

ケーススタディ（事例研究）地区に指定されている七宗町上麻生地区森林共同施業団地では、民間連携による勉強会等の取組を重点的に行っています。

十一月二十七日に、国有林をフィールドとして提供し、民間主導による現地検討会が開催されました。

この現地検討会は、福井県の企業が開発した「グラップル脱着式バケット」を用い、効率的な路網



グラップル脱着式バケット



路網の開設と補修の仕方を見学

開設の検討を行うもので、主催は、国有林の立木販売購入者である岐阜県森林組合連合会です。

前述の企業の協力により現地へ機体とバケットを実際に持ち込み、効率的な路網開設、補修にかかるデモンストレーションが行われました。日頃、路網開設に携わっている参加者からは、「製品の耐久性はどの程度か」「グラップルメーカー別の対応はどうか」といった実践的な質問が、活発に出されていました。

今後も、当署では、ケーススタディ地区における地域林業の発展に向けた取組を、重点的に実施していきます。

〈各地からのたより〉

平成三十年度第二・三回目の

工事安全パトロールを実施

【伊那谷総合山事業所】

九月二十六日、十月三十日、十二月六日の三日間にわたり、小渋川地区、飯田地区の発注工事全現場において、今年度第二回目及び第三回目の安全パトロールを各地区安全協議会と共催で実施しました。パトロールには二日間、二地区の安全協議会員十五社延べ三十二人、当所職員延べ十二人が出席し、十八件の工事現場においてチェックリストによる点検を行いました。

今回の安全パトロールは、七月に実施した発注工事全現場の安全パトロール結果をもとに、是正事項の改善対策の確認や新たな不安要素のチェックを行ったもので、毎年、工事中期から工事完成前にかけて実施しております。

反省会では、整理整頓の不備、許可票等掲示物の不備などの軽微な是正事項の指摘がありました。が、前回よりは指摘事項が減少し、多くの推奨事項が報告され、

パトロールの成果が現れる結果となりました。

また、前回と同様に、飯田労働基準監督署の安全専門官が同行し、労働災害の防止に向けた講義をしていただき、出席者は熱心に聞き入っていました。

今後安全パトロール等の活動を通じて、受注者と発注者が一体となって、相互が実効性のある安全活動を展開し、終盤を迎える今年度の完了予定工事の無事故無災害を目指していきたいと考えています。



チェックリストを手に工事現場をパトロール

まつぼっくりでメリークリスマス！

森林教室を実施

【中信森林管理署】

十二月六日、松本市内の児童福祉施設田川児童センターにおいて、近隣の小学校に通っている児童、総勢約六十名を対象に、森林教室を実施しました。

今回の森林教室は、同児童センターから、山や自然の大切さを理解してもらおうとともに、森林の恵みを使った木工クラフトの製作を体験させたいという依頼を受け、子供達が楽しみにしているクリスマスに向けて、まつぼっくりを

使ったクリスマスツリー作りの体験や自然の生き物・森林のクイズを行いました。

当日は、児童の皆さんの笑顔と元気な声会場いっぱい飛び交い、児童一人ひとりが、様々な飾り付けを施し、この世にひとつだけのツリー作りに取り組みました。

児童センターの館長から「子供達にとって、森の恵を使った工作をする貴重な体験をすることができました。可能であれば、子供達とみんなで山の仕事を見学したり、林業体験を試みたり、野山を散策する機会も今後設けていきたい」と言葉をいただき、日本でも有数の山岳や豊富な緑に囲まれた地域の子供達に、自然や森林とのつながりを一層深めさせてあげたいという思いが伝わる森林教室となりました。



ツリー作りに熱中



完成したクリスマスツリー

〈各地からのたより〉

VRシミュレーターによる
作業疑似体験の出前授業

【愛知森林管理所】

十二月十八日、愛知県立田口高校において、出前授業をおこないました。この出前授業は農林水産省生産局の「農作業安全の出前授業」の募集に林業関係の田口高校がエントリーしたことから、林野庁が出前授業を行うこととなったもので、地元である愛知森林管理事務所も協力しての開催となりました。

出前授業では、林野庁林業労働対策室指導官から「安全な林業について考えてみませんか」と題して講義を受け、その後、林業労働安全全VRシミュレーター



VRシミュレーターでチェーンソー作業中

ターでチェーンソーによる伐採作業を体験しました。また、ハーベスタシミュレーターによる、収穫作業の疑似体験等も行ない労働災害等について学びました。

生徒達からは、「林業労働安全VRシミュレーターでは、チェーンソーを使っていない人でも、どんな危険が潜んでいるか理解できる」、「ハーベスタシミュレーターにより、高性能林業機械による林業への興味が持てる」などの感想があり、労働安全と林業という職業への関心を抱いたようでした。



ハーベスタシミュレーターで高性能林業機械を運転中

今後、次世代を担う学生達に森林・林業等への魅力を発信していきたいと考えています。

旧帝室林野局木曾支局庁舎で
林業遺産を展示

【木曾森林管理所】

木曾郡木曾町福島の旧帝室林野局木曾支局庁舎が今年度、林業遺産に認定され、十一月十五から十六日に、これを記念した企画展を木曾町教育委員会が開催しました。



旧帝室林野局木曾支局庁舎

林業遺産は日本森林学会が、林業発展の歴史を示す景観や施設、林業技術、特徴的な道具、古文書等の資料群を林業遺産として認定しているものです。当施設は、一九二七年に建築された木曾谷最古の擬洋風建築であり、当時最先端の装飾美術であったアール・デコ様式が随所に見られ、長野営林局の庁舎など組織の見直しで名称や機能がかわりつつも、二〇〇四年までの約八十

年間にわたって御料林・国有林の拠点として使用されました。今回開催された企画展では、同じく林業遺産に認定されている、木曾山林資料館所蔵の柚道具が展示されたほか、中部森林管理局所蔵の「木曾式伐木運材図会」の複製が展示され、同局計画課井上生態系保全係長が詳しく説明する講演会も行われました。

講演会では図絵について、昭和初期に撮影された貴重な映像を交えて解説され、参加者からは「貴重な映像と当時の木材の運搬方法に驚いた」などの感想が聞かれました。

企画展が開催された旧帝室林野局木曾支局庁舎は、現在は地元の木曾町により整備され、「御料館」の愛称で、地域振興の活動拠点などに活用されています。



展示品に見入る参加者



田の原高原からの御嶽山

田の原高原は、長野県と岐阜県にまたがる御嶽山（標高二、〇六七メートル）への長野県王滝村からの登山口に広がり、御嶽山七合目に位置し、木曽御岳自然休養林に指定されています。

田の原高原には、御嶽山の大パノラマと可憐な高山植物を楽しむことができる遊歩道（中部森林管理局



希少なクロユリの花

「国有林おさんぽマップ」にも掲載が整備されており、ハイマツの緑やイワカガミ、コバイケソウ、クロユリなど希少な花々との出会いも楽しみのひとつです。高山植物の見頃は六月下旬から七月、紅葉の見頃は九月中旬から十月上旬となっています。（なお、十一月上旬から五月上旬は冬季閉鎖されます）

遊歩道を少し歩くと展望台もあ



補修された遊歩道



遊歩道の休憩施設

り、そこからは中央アルプス、北アルプス、乗鞍岳、開田高原の大パノラマを遥かに望むことができます。遊歩道には休憩施設も整備されており、ゆつくりと散歩気分です。歩くことも可能です。

また、登り口から六百メートル程の距離にある御嶽神社の遙拝所では、御嶽山の祭神をお参りすることができます。ここから真正面に見える御嶽山は迫力があり必見です。

国有林の優れた自然景観を紹介する一環として、田の原高原もゲールストリートビューで公開しています。ぜひご覧いただくとともに素晴らしい景観を楽しみにお出かけください。

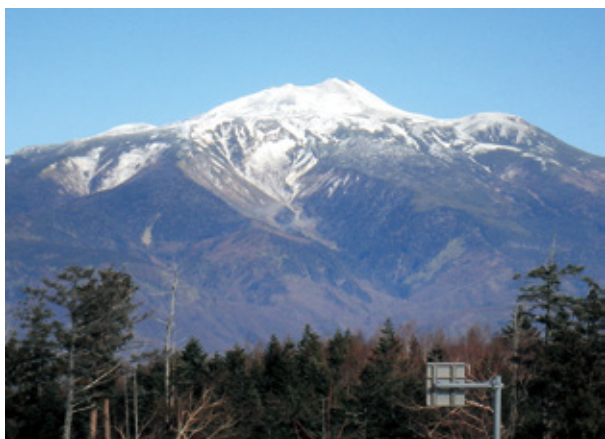


※アクセス 中央道中津川ICから車で約一五〇分、中央道伊那ICから車で約一一五分

（注…御嶽山の立ち入り規制については、王滝村公式HPで確認をお願いします）



御嶽神社遙拝所 (王滝村提供)



チャオ御嶽スキー場からの乗鞍岳

上ヶ洞森林事務所は、高山市の南東部に位置し、約九、九一九へんを管轄しています。

【飛騨森林管理署 上ヶ洞森林事務所】

首席森林官 上島 弘幸



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

管轄する国有林は、高山市の旧高根村に点在しており、標高八八〇mから二、七〇〇mの間にあつて、乗鞍岳（標高三、〇二六m）から御嶽山（標高三、〇六二m）の山麓にあります。東側は稜線を挟んで長野県に接し、北側は、高山市旧丹生川村と、南・西側は、高山市旧朝日村に囲まれています。



飛騨御嶽尚子ボルダールoad記念碑



ウッドチップランニングコース

ウッドチップランニングコース

管内には、チャオ御嶽スキーリゾート・高地トレーニングセンターがあり、標高一、八〇〇mの環境を利用し、心肺機能を高め、持久力の向上を図れます。

また、今年度は、「第六次官・庄川地域管理経営計画」等の予備業務所への応援なども行っています。

編成にあたりますので、伐採、造林、更新関係を中心に現場を調査するなど、本編成に向けしっかりと準備していく予定です。

これから 厳しい冬期を迎える中、健康と安全第一で明るく業務に取り組んでいきたいと考えています。

是非林野庁に入っていたら一緒に取り組んでいきましょう。



上ヶ洞森林事務所の三名（左端筆者）

■未来の担い手へのメッセージ

森林を整備することは、まさに、自然災害などから日本の国土を守り、国民が安心して生活ができる環境を作ることです。国有林は国民からは直接、目にするものの少ない財産ですが、私は、誇りを持って業務に取り組んでいます。

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



有限会社ヤマカ木材

荒木 あらまき 大輔 だいすけ

(二〇一四年入社)



伐倒作業の合間の荒木さん

■事業の概要

請負事業：製品生産請負事業
 (伐採・造林一貫作業南木曾2
 柿其)

発注者：南木曾支署

事業地は、柿其国有林三二に林小班ほか、主に樹齢八十年生以上の本曾ひのきを間伐、架線集材に搬出します。また、二・四二鈔

の伐採造林一貫作業や約二二鈔の列状間伐も含まれ、全搬出材積は五四七〇立方メートルにもなる非常に大きな現場です。

この現場から搬出される木材の一部は中部森林管理局のブランド材である「(高)本曾ひのき」として販売され、高品質な住宅構造材などとして利用されます。

■現場での役割・魅力

主にヒノキの伐倒と架線による集材を行っています。職場では近年若手が多数採用されましたので、歳の近い仲間が数多くいます。一方で、上は八十歳に近い大ベテランまで幅広い人材がいますが、中堅クラスの先輩があまりいないという状況にあり、現場を支える中堅へと早急な成長を望まれているように感じます。

しかし、天然本曾ひのき等、巨木の伐倒や一から林業架線を作り上げる技術は非常に難しく、すぐにものできることはないように感じます。その場その場で違う木の特徴や地形、地質、林道の位置や機械の配置等によって作業方法は千差万別で、これが正しい方

法だというような明確な答えはないように思います。そうした状況を切り抜け、材木を安定的に搬出するために基礎をしっかりと身に付け、それらを応用して問題を解決する方法を考える力が必要になると思います。生産性向上の必要性から、先輩方が作業に集中し、マンツーマンでゆっくり教えてもらえる機会は減りましたが、一つ一つの機会を大切に、しっかりと技術を身に付けて現場を支える技術者になれるよう、頑張りたいです。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私の父親が自営で木材販売をし



高性能自走式搬器による架線集材

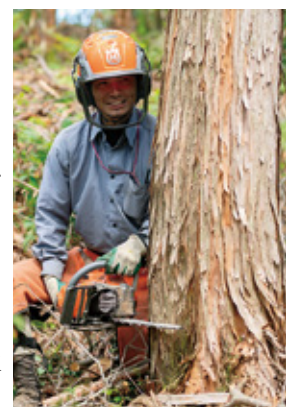
ていて、幼少のころより木とは縁がありました。大学で学ぶため関東に出ていた時もありましたが、元々、地元志向が強く、本曾に帰ったら伝統である本曾ひのきに携わる仕事がしたいと考えたのがきっかけです。

■未来の担い手へのメッセージ

林業という仕事は教科書通りには教えられた通りにやるだけではできない「答えのない仕事」だと思います。そして、とても危険な仕事です。作業には私たちの命がかかっている、会社全員で力を合わせて出した丸太にはとても価値があると思っており、やりがいを感じています。

私もまだまだ若く、修行中の身ではありますが、日々安全に頑張っています。

林業の未来が明るくなるよう、一緒に頑張りたいです。



これからヒノキの伐採です

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

平成31年1月

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



株式会社 北原組

北原 将士
（二〇一六年入社）



この工事中に家族が増えました。

■事業の概要

請負工事：湯沢水源地域整備工事

発注者：東信森林管理署

本工事は、水源涵養保安林で八ヶ岳中信高原国定公園特別保護地区であり、観光地の双子池湖畔の斜面に発生した崩落地で、土留工・水路工を設置し、土砂の生産・流出を防止するとともに、水



雪深く、一年のうち7ヶ月しか作業できません。雨も多く濁水処理には気を使いました。

■現場での役割・魅力
土保全機能の高い森林に造成・復元する目的の工事です。

私は入社後間もなく作業員として本工事に携わりました。国有林の自然は毎日表情を変え、穏やかな日もあれば、厳しい雷雨で道が流されてしまい現場まで辿り着かない日もありました。また、積雪で思うように進まないことも多々ありました。

そんな頭を悩ませる毎日の作業も働く仲間と話し合い問題を解決し、無事完成したときは込み上げる思いが沢山ありました。そして、森林が再び自然の力を発揮できるよう修理をしてあげたような達成感がありました。地球修理屋さんになって本当に

良かったと思えました。

■林業土木の世界に

入ったきつかけ私が建設業界に入ったきっかけは、弊社の社長の娘と結婚したからです。

それまでは、埼玉県の病院で介護の仕事に携わっていました。内勤で働いていた私は、外仕事に多少の抵抗と不安があったのですが、義理のお父さんにノーと言えずにこの道に入りました。

慣れない仕事に不安ばかりでしたが、近所の焼肉屋の美味しい石焼カレーで釣られ決心しました。やっぱり人間は綺麗な人と美味しい物には惹かれます（笑）



標高2,030m双子池(雄池) 綺麗な景観を守るために

■未来の担い手へのメッセージ

建設業も人手不足という大きな問題を抱えています。

確かに、夏は暑いし冬は寒い。体力仕事に魅力なんて感じる事ができないかもしれません。

しかし、建設業にはやってみなければわからない魅力がたくさんあります。

私は今、あれほど抵抗を持っていたこの世界に誘ってくれた社長に感謝しているほどです。



国有林ではありません。社長の山です。

森林には「幸」がいっぱいあります。蕨・茸などの山菜や、鹿・熊などのジビエ。

そして、何より空気が美味しいのが一番です。

故郷の青森も素敵ですが長野も「半端ねえ」と実感しました。

みなさんは非この魅力溢れる建設業と一緒に働きましょう。



① 2月毎週土曜日 おおまち雪祭り

(中信署 大町市)

大町温泉郷で、かまくらやスノーキャンドル、花火の打ち上げがあります。市内各所では、鹿島槍火祭り、雪上ハイキングやあめ市などのイベントも実施予定です。

「上包」

② 1日、溪流釣り解禁

(岐阜署 管内各河川)

根尾川、長良川中流域、津保川などで溪流釣り(アマゴ、ヤマメ、イワナ)が順次解禁されます。各河川の解禁日やアマゴ等の放流量は各漁業協同組合にお問い合わせください。

③ 2日～3日 なべくら高原スノーシューフェスティバル2019

(北信署 飯山市)

飯山市なべくら高原・森の家において、国内最大級のスノーシューイベントを開催。

最新モデルのスノーシュー無料試乗や

ショートツアー、子供向けのプログラム、ワンデイツアーなど、魅力たっぷりの2日間。



飯山市森の家提供

④ 3日「郡上本染鯉のぼり寒ざらし」

(岐阜署 郡上市)

郡上八幡東殿山国有林の麓を流れる吉田川で、冬のモノトーン風景に、赤、黄、紺…と色鮮やかに染め上げられた本染めの鯉のぼりが浮かび上がります。県重要無形文化財指定の伝統の技をご覧ください。

⑤ 3日 第21回奈良井宿アイスキャンドル祭り

(中信署 塩尻市)

奈良井宿に約一キロにわたり、手作りのアイスキャンドルが二千個以上灯されます。古い町並みとマッチして風情あります。



⑥ 4日 広葉樹のまちづくりセミナー

(飛騨署 飛騨市)

飛騨市が開催しているセミナー、広葉樹のまちづくりを進めるために色々な方の意見を聴く機会のセミナーです。演題は「森と人をつなぐ仕事」

⑦ 6日 広葉樹のまちづくりセミナー

(飛騨署 飛騨市)

⑥の第五回に続いて開催されます。演題は「新しい狩猟の形」

⑧ 8日 新春講演会

(治山課 長野市)

斜面防災対策技術協会長野支部の主催により、環境保全と防災及び森林を取り巻く情勢について講演会が開催されます。

⑨ 9日 「氷雪の灯祭り」

(南木曾支署 南木曾町)

南木曾町妻籠宿で、「氷雪の灯祭り」

が開催されます。手作りのアイスキャンドルや雪像などを使い、木曾路内にある宿場を灯す幻想的なイベントです。

⑩ 9日 大網の火祭り(中信署 小谷村)

小谷村の中でも山深い大網地区で毎年開催され、鬼に扮した男たちが五穀豊穡を願い踊る伝統行事です。

⑪ 9日～10日 おんばしら館よいさ体験イベント

(南信署 下諏訪町)

御柱の曳行に欠かせない木遣り唄のステージと、お祭りを華やかにする長持ちの体験を行います。諏訪地域ならではの木遣り、長持ちは、観光で訪れる方々に好評です。無料・予約不要。

⑫ 9日～10日 いいやま雪まつり

(北信署 飯山市)

市内各所に、見事な彫刻を施した雪像や雪見灯籠が設置されます。(当日は北信署駐車場を来場者用に提供します)



飯山市提供

⑬10日 松平東照宮「天下祭」

(愛知所豊田市)

徳川家康と松平親氏(始祖)を祭る神社にて、天下泰平を祈願した松平親氏の偉業をたたえる祭を開催します。裸の厄男達の「練り込み」と「球競り」が見物。木製の玉を求めて激しく競い合い、熱気にあふれる勇者達が見どころです。

⑭11日 第三十二回劔岳雪のフェスティバル

(富山署 上市町)

冬場に誰もが雪に親しみ、雪を楽しむイベントをテーマに、恒例の「劔岳雪のフェスティバル」が開催されます。ポカポカ食の広場では名物「くま鍋」をはじめ、しし鍋、やきそば、あんばやし(こんにやくの串刺し)などの軽食が販売されるほか、町内外から四十店以上のブースが軒を連ねます。特産品コーナーには、揚げたて里芋コロッケなど町の特産品が数多く並びます。毎年趣向を凝らしたステージイベントが行われます。

【中包】

⑮12日 平成三十年第二回中部森林管理局保護林管理委員会(計画課 長野市)

保護林の設定、管理及びモニタリング等に関する検討を行う「保護林管理委員会」を開催します。中部森林管理局三階大会議室にて行います。傍聴申し込みにつきましては、局ホームページでお知らせします。

⑯17日 野沢温泉スキー場イベント(スキー子供の日)

(北信署 野沢温泉村)

中学生までリフト一日券が無料。その他の日にも各種イベントがあります。



【下包】

⑰22日～24日 奈良井宿灯明祭り

(中信署 塩尻市)

三日間、奈良井宿街道沿いに「ゆめ灯り絵展」として二〇〇基の切り絵行灯が並び、「国の需要伝統的建造物保存地区」にも選定されている宿場の古い町並みを演出します。

⑱23日まで「ひるがの高原スキー場ナイトクルージング」

(岐阜署 郡上市)

ゲレンデ整備に使う圧雪車に乗車して約三十分の「ナイトクルージング」で

す。専門スタッフの運転で山頂まで往復。満点の星の下、夜のゲレンデで特別な体験ができます。

⑲2月下旬頃 小坂な冬の滝(氷瀑)巡り

(岐阜署 下呂市)

夏季のシャワークライミング(九月の見どころ聴きどころ⑲)が、高さ約二十メートル、幅約五十メートルの大小の氷柱群が連なる氷瀑となります。地形、気候を熟知した専門ガイドがご案内します。なお、スノーシューやスパイクなど専門装備(無料レンタル)を駆使して進む山行のため、参加には相応の体力が必要です。



⑳26日 国有林の地域別の森林計画等検討会

(企画調整課 長野市)

平成三十年度に策定もしくは変更する地域管理経営計画(案)及び国有林野施業実施計画(案)についての検討会を開催します。中部森林管理局三階大会議室にて行います。傍聴申し込みにつきましては、局ホームページでお知らせします。

【編集長だより】 あなたの写真を！お待ちしております

☆明けましておめでとうございます。「中部の森林」では本年もホットな話題を皆様にお届けしてまいります。一年間よろしく申し上げます。

ウインターシーズン真只中。寒さのため室内に籠りがちになる時期でもありますが、防寒対策をして森林に出かけてみてはいかがでしょうか。

☆ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

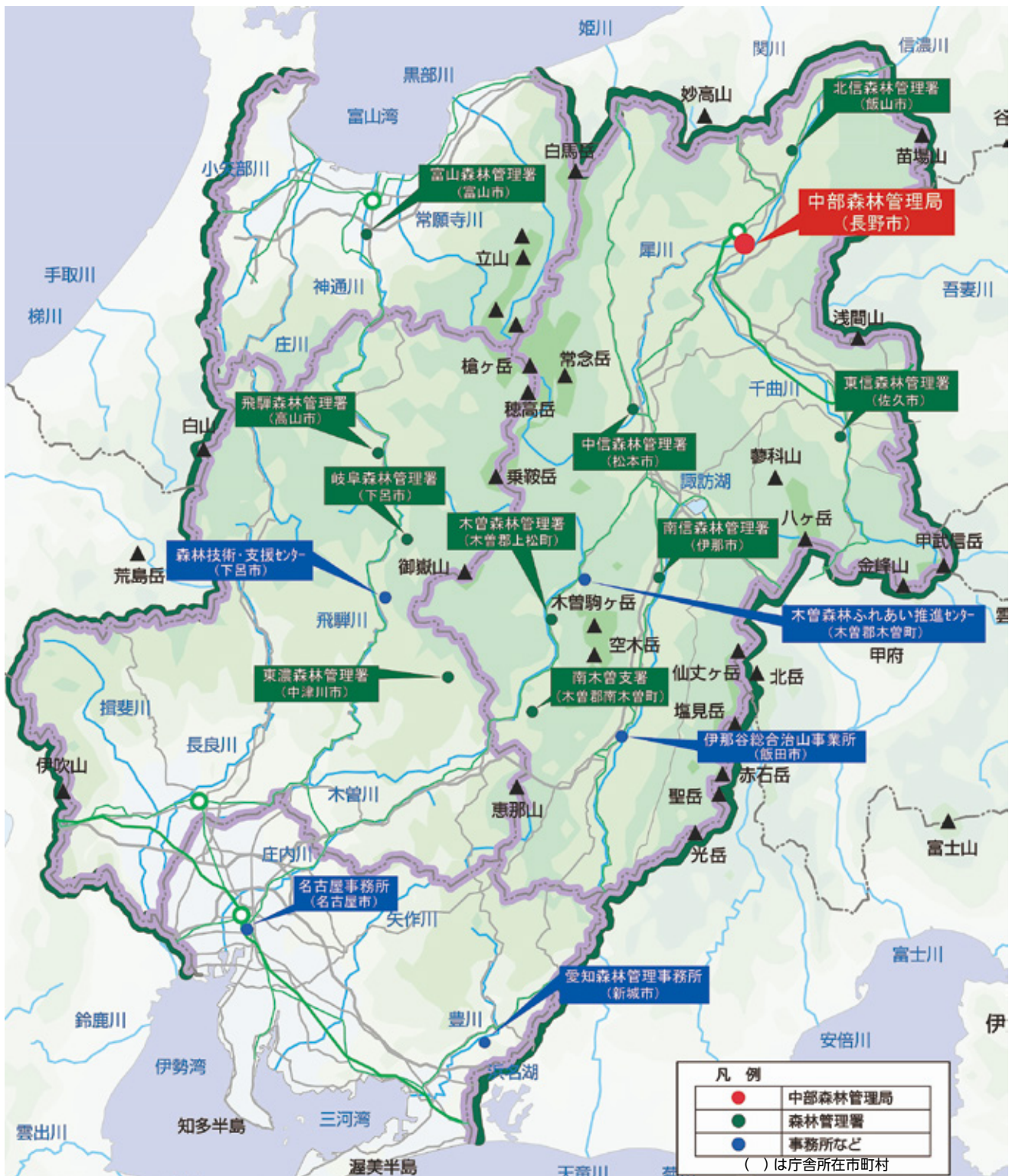
☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。

あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(2月なら①～⑳のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません

☆森林でのお仕事紹介コーナー、学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。

出前での就職説明会も出来ますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

| | | | | |
|----------------|-----------|---------------------|-------------------|------------------|
| 名古屋事務所 | 〒456-8620 | 愛知県名古屋市中区熱田西町1-20 | TEL 050-3160-6660 | FAX 052-683-9269 |
| 富山森林管理署 | 〒939-8214 | 富山県富山市黒崎字塚田割591-2 | TEL 050-3160-6080 | FAX 076-424-4934 |
| 北信森林管理署 | 〒389-2253 | 長野県飯山市大字飯山1090-1 | TEL 050-3160-6045 | FAX 0269-62-4144 |
| 中信森林管理署 | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1256-1 | TEL 050-3160-6050 | FAX 0263-47-4754 |
| 東信森林管理署 | 〒384-0301 | 長野県佐久市白田1822 | TEL 050-3160-6055 | FAX 0267-82-6959 |
| 南信森林管理署 | 〒396-0023 | 長野県伊那市山寺1499-1 | TEL 050-3160-6060 | FAX 0265-72-7774 |
| 木曾森林管理署 | 〒399-5604 | 長野県木曾郡上松町正島町1-4-1 | TEL 050-3160-6065 | FAX 0264-52-2582 |
| ※南木曾支署 | 〒399-5302 | 長野県木曾郡南木曾町吾妻3859-39 | TEL 050-3160-6070 | FAX 0264-57-2686 |
| 飛騨森林管理署 | 〒506-0031 | 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3 | TEL 050-3160-6085 | FAX 0577-34-8932 |
| 岐阜森林管理署 | 〒509-3106 | 岐阜県下呂市小坂町大島1643-2 | TEL 050-3160-6090 | FAX 0576-62-2503 |
| 東濃森林管理署 | 〒508-0351 | 岐阜県中津川市付知町8577-4 | TEL 050-3160-5675 | FAX 0573-82-2109 |
| 愛知森林管理事務所 | 〒441-1331 | 愛知県新城市庭野字東萩野49-2 | TEL 0536-22-1101 | FAX 0536-23-2254 |
| 森林技術・支援センター | 〒509-2202 | 岐阜県下呂市森876-1 | TEL 050-3160-6095 | FAX 0576-25-2420 |
| 木曾森林ふれあい推進センター | 〒397-0001 | 長野県木曾郡木曾町福島1250-7 | TEL 0264-22-2122 | FAX 0264-21-3151 |
| 伊那谷総合治山事業所 | 〒395-0001 | 長野県飯田市座光寺5152-1 | TEL 050-3160-6075 | FAX 0265-22-0149 |

※南木曾支署は、新庁舎完成のため平成31年2月13日に上記から〒399-5301 南木曾町読書3650-2に移転します。(TEL、FAXは変更ありません)